

お知らせ

記者発表資料

令和4年6月23日

■同時発表先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

渇水対策本部の設置について

～日野川水系、斐伊川水系で渇水調整を実施～

中国地方整備局管内の一級河川では、5月以降少雨が継続していることにより渇水傾向となっています。これにともない、ダムの貯水量も低下しています。

日野川水系においては、平年に比べて降水量が少ない状況が続いたため、5月23日（月）に日野川流域水利用協議会を開催し、5月26日（木）から取水制限を実施しており、日野川河川事務所には渇水対策支部が設置されています。

また、斐伊川水系においても、平年に比べて降水量が少ない状況が続いているため、6月22日（水）に斐伊川渇水調整協議会（幹事会）を開催し、6月24日（金）には出雲河川事務所に渇水対策支部を設置する予定です。

このような状況のなか、6月16日に広島地方气象台が発表した中国地方の「向こう1ヶ月の天候の見通し」では、降水量はほぼ平年並みと見込まれていますが、渇水が深刻化することも予想されます。

このため、国土交通省中国地方整備局では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とする「中国地方整備局渇水対策本部」（本部長：中国地方整備局長 多田 智）を6月24日（金）10時00分に設置する予定です。

※令和4年6月24日（金）10：00より中国地方整備局河川部前（合同庁舎2号館9階）にて渇水対策本部の看板を設置（予定）いたします。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 河川部 河川環境課

082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

【担 当】河川部 河川環境課長

はまだ けんいち
浜田 健一（内線3651）

河川部 河川環境課長補佐

とよた きよみつ
豊田 清光（内線3652）

◇現在の取水制限状況について

中国地方整備局管内の一級河川における取水制限等の状況は下記のとおりです。

【取水制限】

○日野川水系

- ・ 5月26日（木）より、第1次取水制限：上水・工水・農水 一律5%の取水制限を実施
- ・ 6月 4日（土）より、第2次取水制限：上水・工水・農水 一律10%の取水制限に強化
- ・ 6月 7日（火）より、第1次取水制限：上水・工水・農水 一律5%の取水制限に緩和

○斐伊川水系

- ・ 6月24日（金）より、第一次渇水調整：尾原ダムの放流操作により、下流の上島^{かみしま}地点における確保流量を、流水の正常な機能の維持のために必要な流量の約70%とする調整を実施予定

◇渇水調整協議会等の開催経緯

○日野川

- ・ 5月23日（月） 日野川流域水利用協議会（第1回）を開催（取水制限率の確認）

※決定内容：車尾堰^{くずも}地点流量が日平均で1m³/sを下回ったことを確認した日の翌日の9時から上水・工水・農水に一律5%の取水制限を行う。

- ・ 5月26日（木） 日野川渇水対策支部設置、一律5%取水制限開始
- ・ 6月 4日（土） 取水制限率を一律10%へ引き上げ（5%→10%）
- ・ 6月 6日（月） 日野川流域水利用協議会（第2回）を開催（取水制限率の確認）
- ・ 6月 7日（火） 取水制限率を一律5%へ引き下げ（10%→5%）

○斐伊川

- ・ 6月22日（水） 斐伊川渇水調整協議会（幹事会）を開催（渇水調整の確認）

○旭川

- ・ 6月 9日（木） 旭川水系水利用協議会（準備会）開催

○江の川

- ・ 6月15日（水） 江の川渇水調整協議会（幹事会）開催

○佐波川

- ・ 6月20日（月） 佐波川渇水調整協議会（幹事会）開催
- ・ 6月23日（木） 佐波川渇水調整協議会開催

◇現在の渇水対策支部設置状況

中国地方整備局管内の事務所における渇水対策支部設置状況は下記のとおりです。

- 日野川河川事務所（日野川） 5月26日（木）設置
- 出雲河川事務所（斐伊川） 6月24日（金）設置（予定）

◇各水系の状況

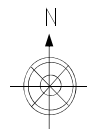
中国地方の一級河川の降雨状況及び中国地方整備局が管理しているダムの貯水状況は別紙のとおりです。

◇渇水情報について

中国地方の渇水状況を広くお知らせし、限りある水資源を大切に使うため、主に一級河川のダム貯水状況などを中国地方整備局ホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp>)に掲載します。

※令和4年6月24日（金）10：00に中国地方整備局河川部前（合同庁舎2号館9階）にて渇水対策本部の看板を設置（予定）いたします。

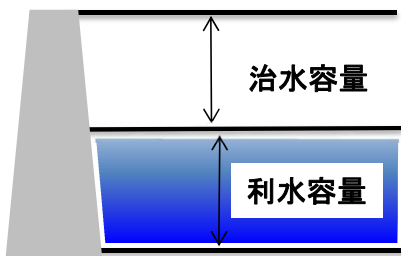
中国地方の直轄ダム貯水量状況（利水容量）
（令和4年6月23日 0：00時点）



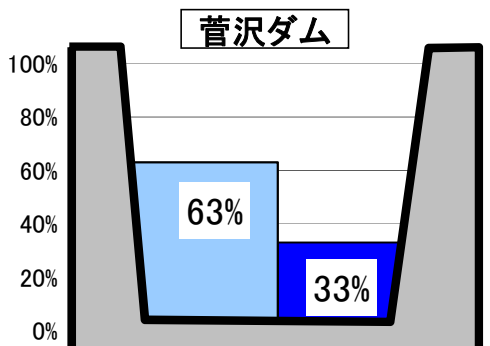
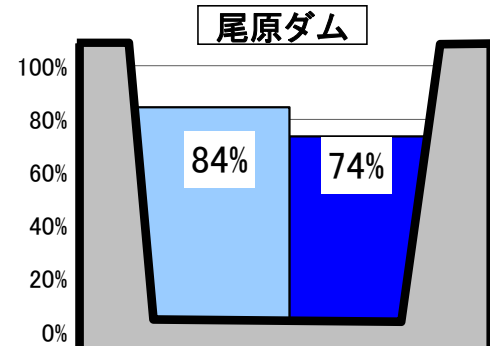
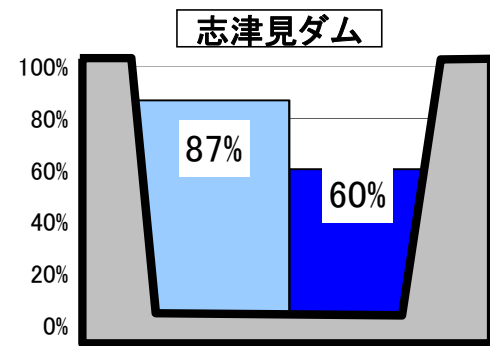
凡 例



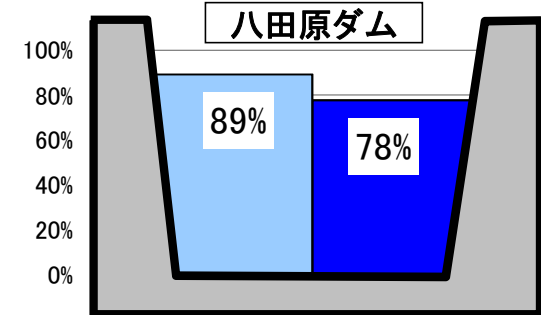
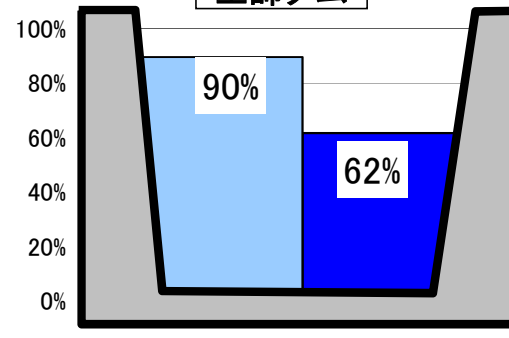
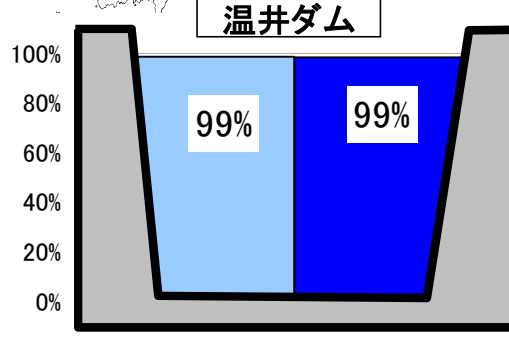
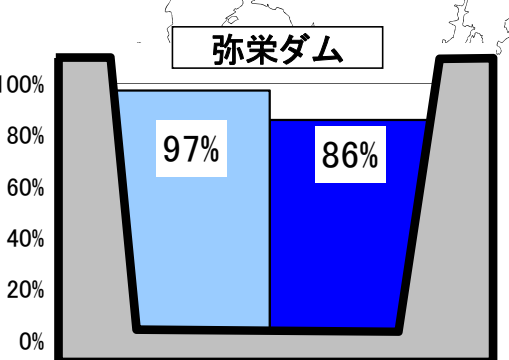
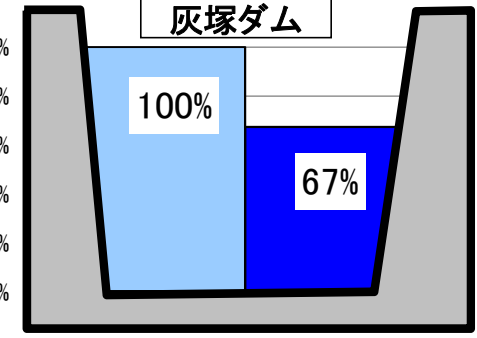
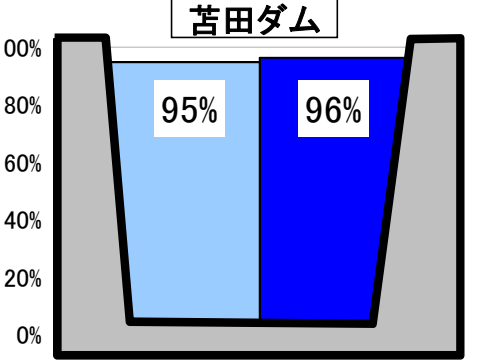
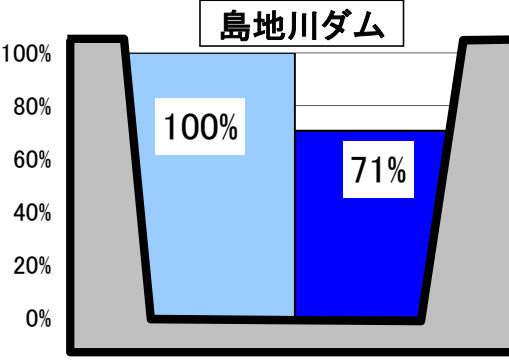
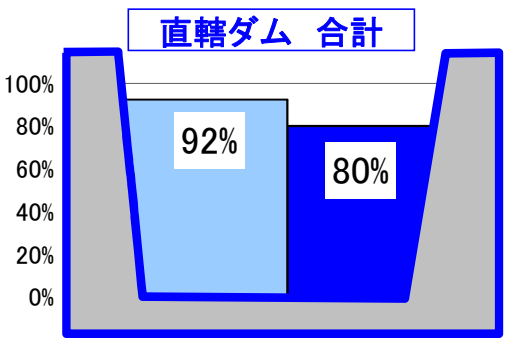
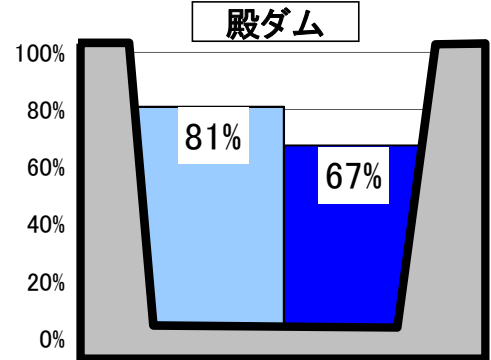
*尾原ダム、殿ダム H25～R3の貯水量との比
*その他のダム H24～R3の平均貯水量との比



※貯水率は、上記利水容量の貯水割合を示す。



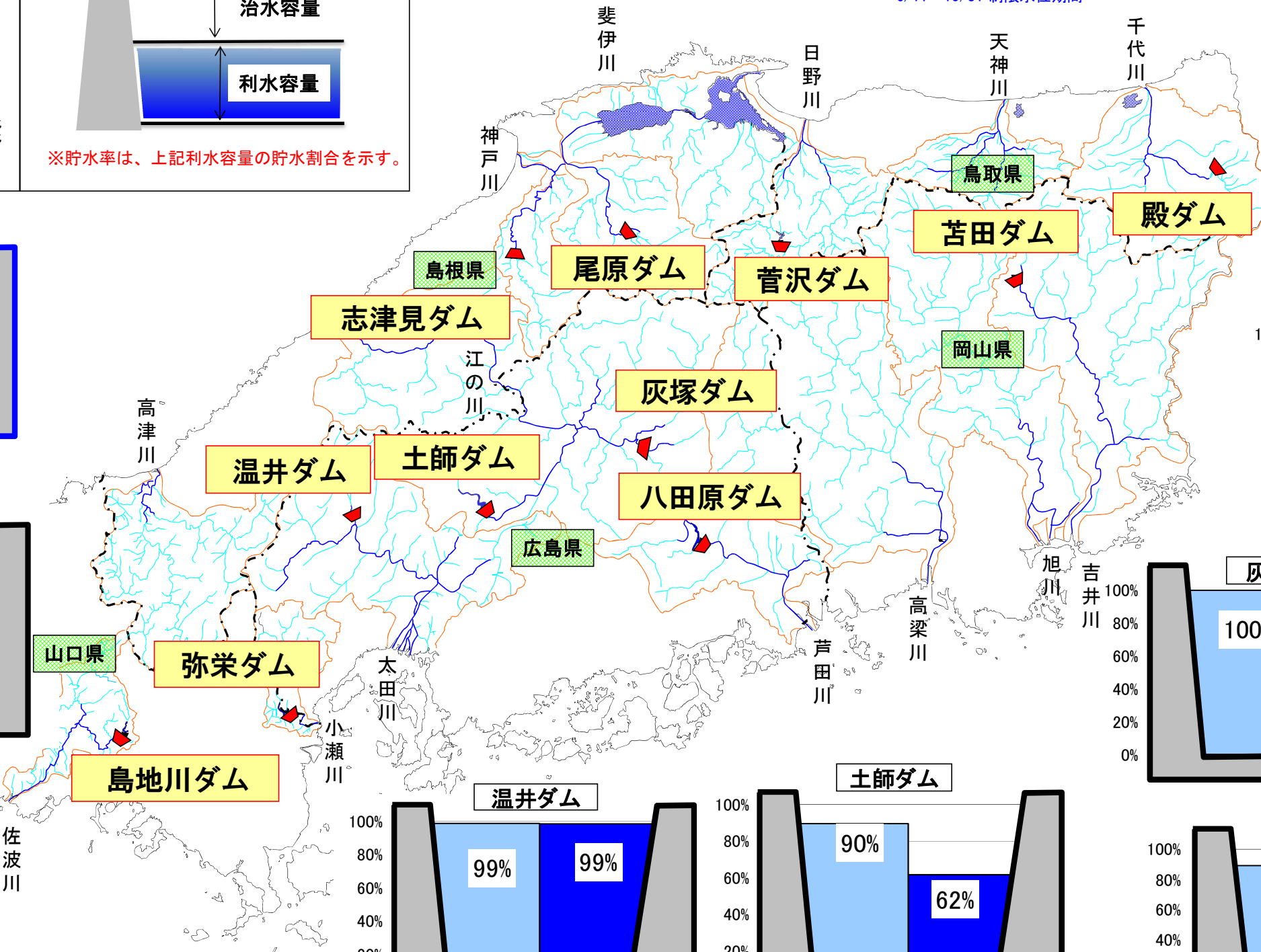
6/11～10/31 制限水位期間



6/11～10/25 制限水位期間

6/11～10/15 制限水位期間

凡 例



向こう1か月の天候の見通し 中国地方（06/18～07/17）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。
- 向こう1か月の降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。

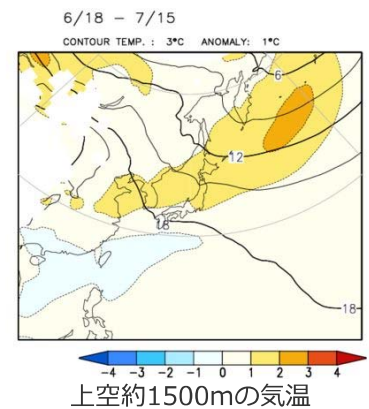
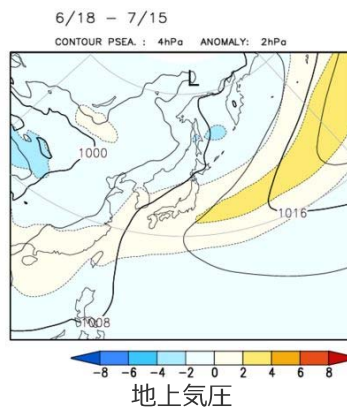
1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
中国地方	山陰	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
	山陽		少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多 40 % ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です		平均気温（1か月） 	降水量（1か月） 	日照時間（1か月）

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、本州付近で帯状に平年より高いでしょう。太平洋高気圧は平年より北側で強い見込みです。日本の北から北海道付近は平年より低く、気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、北・東日本を中心に平年より高いでしょう。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温（1週目） 06/18～06/24	平均気温（2週目） 06/25～07/01	平均気温（3～4週目） 07/02～07/15
週別の天候	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多いでしょう。	山陰は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。山陽では、前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
中国地方	低20 並30 高 50% 高い 見込み	低10 並30 高 60% 高い 見込み	低20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

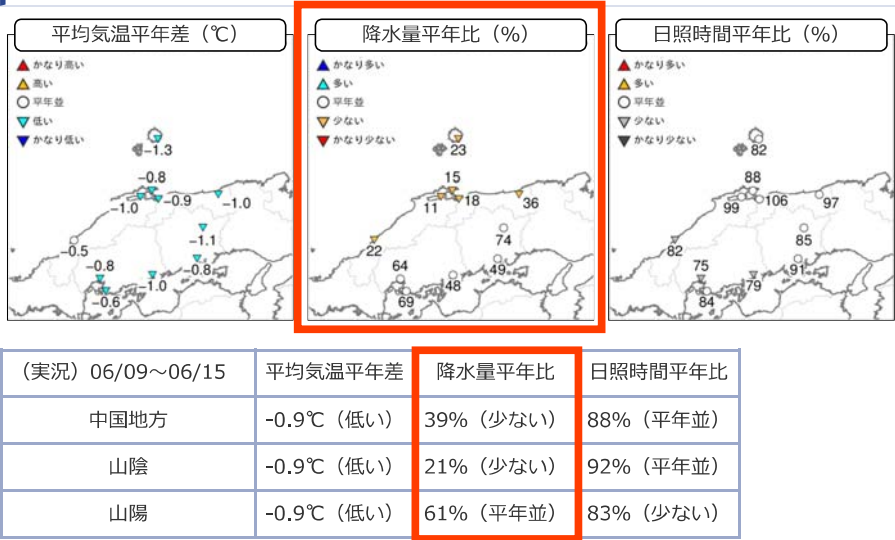
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfct/sankou/chugoku1.html>）をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考（確率予報の解説）](#)」をご覧ください。

最近 1 週間の天候経過



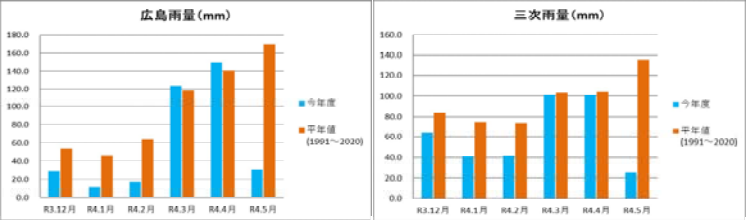
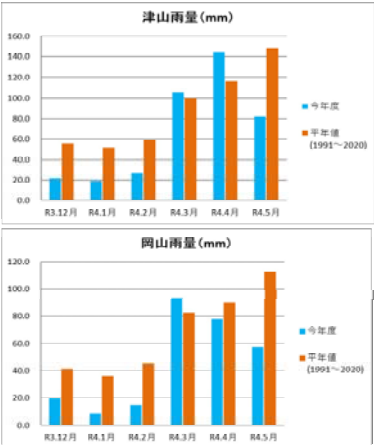
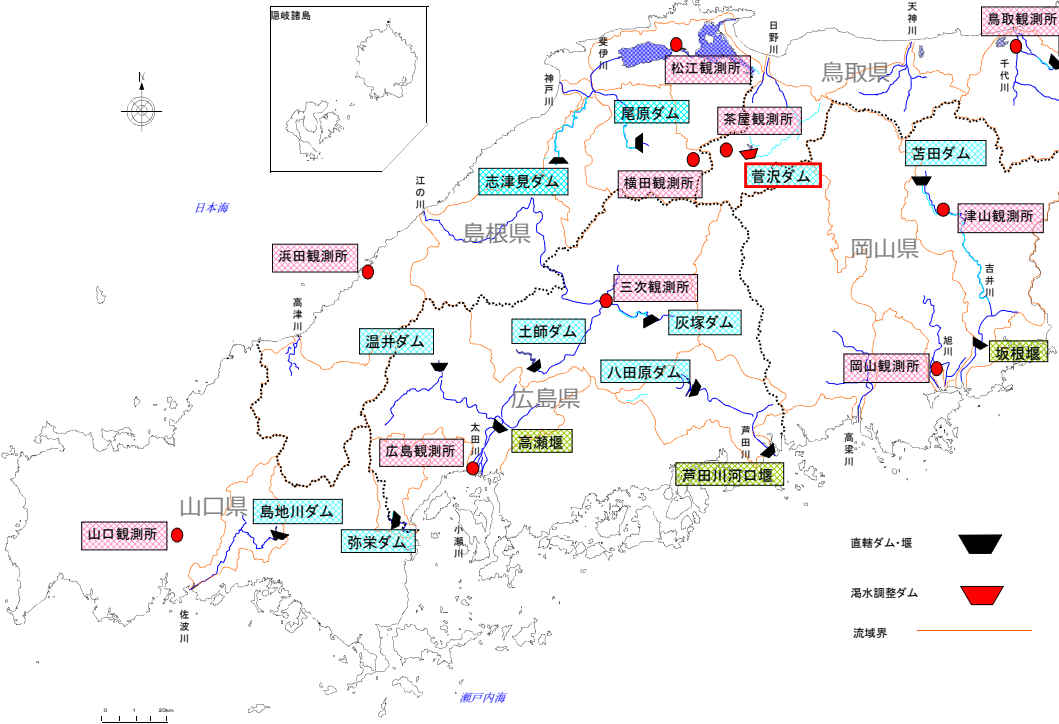
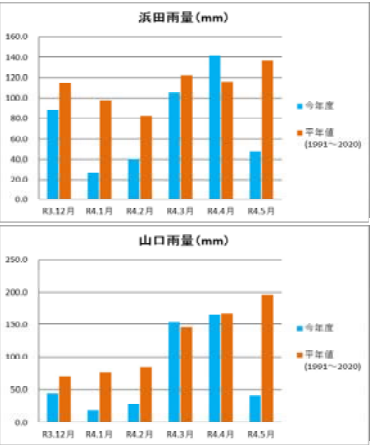
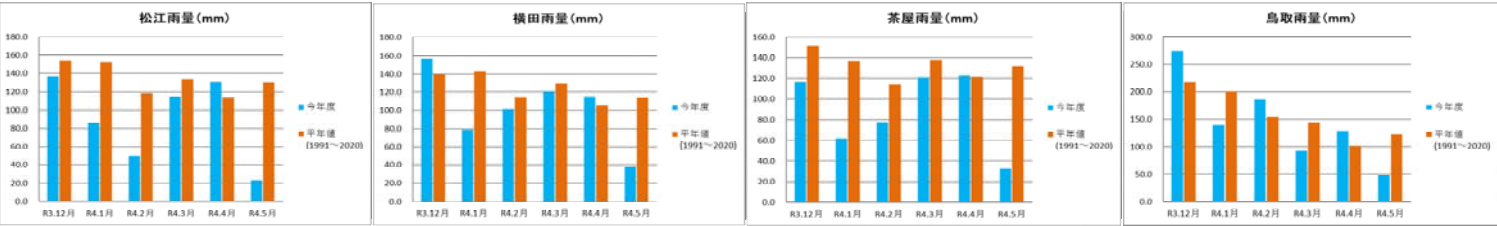
参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30） （30：40：30） （30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

中国地方の降雨・降雪状況(R4.5.31 時点)

	R3.12～R4.5合計 の平年比	R4.5の平年比
鳥取	93%	39%
茶屋	67%	25%
横田	82%	33%
松江	67%	18%
浜田	67%	35%
津山	75%	55%
岡山	67%	51%
三次	74%	19%
広島	64%	18%
山口	65%	21%



■既往の主な渇水

年 次	水系名	時期	制 限 期 間			最大取水制限率	地整本部
昭和４８年度	芦田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５９日間	上水３２％、工水７８％、農水７６％	
	太田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５２日間	上水１０％、工水４０％	
	小瀬川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	４９日間	上水５％、工水４０％	
昭和５３年度	芦田川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年９月	５０日間	上水４０％、工水８６％	
	太田川	秋期	昭和５３年９月	～ 昭和５３年９月	１０日間	上水１０％、工水１０％	
	小瀬川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６１日間	上水１０％、工水５５％	
	佐波川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６２日間	上水１０％、工水５０％	
昭和５７年度	芦田川	夏期	昭和５７年６月	～ 昭和５７年７月	１６日間	上水１０％、工水８２％、農水５６％	
	太田川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	９日間	上水２０％、工水４０％	
	小瀬川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	１２日間	上水５％、工水５５％	
	吉井川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	７日間	上水２０％、工水２０％	
昭和５９年度	太田川	秋期	昭和５９年１１月	～ 昭和５９年１２月	２１日間	上水５％、工水１０％	
昭和６１年度	小瀬川	冬期	昭和６１年１２月	～ 昭和６１年１２月	１４日間	上水５％、工水１０％	
昭和６２年度	小瀬川	冬期	昭和６３年２月	～ 昭和６３年３月	２２日間	上水５％、工水１０％	
平成２年度	斐伊川	夏期	平成２年８月	～ 平成２年８月	６日間	番水実施	
平成４年度	太田川	夏期	平成４年７月	～ 平成４年７月	４日間	上水１０％、工水２０％、農水１０％	
平成６年度	斐伊川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	５９日間	上水２０％、工水２０％、農水２２％	
	吉井川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	７１日間	上水３０％、工水３０％、農水７０％	
	旭川	夏期	平成６年８月	～ 平成６年９月	４５日間	上水２０％、工水３０％、農水５０％	
	高梁川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１２月	１１７日間	上水５０％、工水７０％、農水９０％	
	芦田川	夏期	平成６年７月	～ 平成７年５月	３００日間	上水３０％、工水６８％、農水９０％	
	太田川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１０月	９８日間	上水２７％、工水６０％、農水６０％	
	小瀬川	冬期	平成６年１２月	～ 平成７年５月	１４４日間	上水１０％、工水５５％	
	佐波川	秋期	平成６年９月	～ 平成７年４月	２２７日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	
平成７年度	芦田川	夏期	平成７年８月	～ 平成８年３月	２２２日間	上水１０％、工水６０％、農水５０％	
平成８年度	芦田川	夏期	平成８年８月	～ 平成８年９月	３９日間	上水５％、工水５０％、農水５０％	
平成１４年度	旭川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１１月	７０日間	上水１０％、工水２０％、農水３０％	
	高梁川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１２月	１０２日間	上水１０％、工水２０％、農水３０％	
	芦田川	秋期	平成１４年１１月	～ 平成１５年３月	１０４日間	工水３０％、農水４０％	
平成１７年度	日野川	夏期	平成１７年６月	～ 平成１７年７月	２４日間	上水３５％、工水３５％、農水３５％	
	高梁川	夏期	平成１７年７月	～ 平成１７年７月	４日間	上水１０％、工水１０％、農水３０％	
平成１９年度	佐波川	冬期	平成１９年１月	～ 平成１９年４月	８９日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	
	日野川	春期	平成１９年５月	～ 平成１９年７月	４５日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	
	佐波川	秋期	平成１９年１１月	～ 平成２０年２月	８７日間	上水３０％、工水３０％、農水３０％	
	高梁川	冬期	平成１９年１２月	～ 平成２０年１月	２０日間	上水５％、工水５％、農水１０％	
	小瀬川	冬期	平成２０年１月	～ 平成２０年１月	２３日間	上水５％、工水１０％	
平成２０年度	江の川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１２月	１１１日間	農水７０％	
	高梁川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１１月	７５日間	上水５％、工水１０％、農水２０％	
	芦田川	秋期	平成２０年１１月	～ 平成２１年３月	１１８日間	工水２０％、農水２０％	
平成２１年度	日野川	春期	平成２１年５月	～ 平成２１年６月	３３日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	6/2～7/13
	芦田川	夏期	平成２１年６月	～ 平成２１年７月	５１日間	工水３０％、農水３０％	
平成２２年度	小瀬川	冬期	平成２２年１２月	～ 平成２３年３月	９２日間	上水５％、工水２０％	12/21～3/1
	佐波川	秋期	平成２２年１０月	～ 平成２３年２月	１２３日間	上水３０％、工水３０％、農水３０％	
平成２５年度	日野川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年６月	３４日間	上水５％、工水５％、農水２０％	5/21～7/9
	斐伊川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年７月	４３日間	基準点確保流量７０％減	
	芦田川	夏期	平成２５年６月	～ 平成２５年６月	１０日間	工水２０％、農水２０％	
平成２６年度	斐伊川	夏期	平成２６年７月	～ 平成２６年８月	２５日間	基準点確保流量５０％減	－
平成２７年度	斐伊川	夏期	平成２７年７月	～ 平成２７年９月	３３日間	基準点確保流量５０％減	－
平成２８年度	斐伊川	夏期	平成２８年７月	～ 平成２８年９月	３３日間	基準点確保流量５０％減	－
平成２９年度	斐伊川	夏期	平成２９年６月	～ 平成２９年９月	７５日間	基準点確保流量４０％減	－
令和元年度	日野川	春期	令和元年５月	～ 令和元年７月	５７日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	6/13～7/26 8/19～9/6
	斐伊川	夏期	令和元年６月	～ 令和元年９月	８６日間	基準点確保流量４０％減	
	千代川	夏期	令和元年８月	～ 令和元年１０月	４４日間	農水３０％	
令和２年度	斐伊川	夏期	令和２年６月	～ 令和２年６月	５日間	基準点確保流量３０％減	－
	佐波川	冬期	令和２年１２月	～ 令和３年２月	５６日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	